

令和3年度 木島平村立木島平中学校グランドデザイン

探究・創造・共同する生徒

「ひと、もの、こと」との出会いと対話によって拓かれた人間関係の構築と、真正な学びを追究します。

人権意識を健全に育んでいくために、自他の尊厳互いに尊重される環境・人間関係・授業づくりに取り組みます。

多様な考えや価値に触れ、自己の生き方を問い直していけるよう、異年齢同士がかかわる場を大切にします。

日常的な活動や行事における役割と分担を、生徒の創造性に委ねることによって、自ら「創る」感覚を醸成し、自己実現につながるエネルギーを引き出します。

教師主導の画一的な教育、一斉一律の教育ではなく、子ども主体の「自律した個の学び（個別最適化された学び）」、「探究的な学び」を大切にします。

学級や学年の枠を超えた全校道徳、交流給食、縦割清掃や音楽集会、生徒集会等の各種集会等を通して、多様な価値に触れる機会を多くし、他者を大切にする木島平中学校の伝統を受け継ぐ気風を醸成していきます。

生徒の学びの事実を基に、研究協力者を招いての研修授業や授業記録（映像等）を用いて行うリフレクション等を重ね研鑽します。

関係をつくる力(共同)
自らを拓き、他者を感じる生徒

自主的・実践的な態度(創造)
集団に働きかけ、集団にある喜びを感じる生徒

合言葉「き・じ・ま」
きれいな歌声
じみちな清掃
まごころ挨拶

木島平村の文化や伝統を再発見する場やルクセンブルク交流での異文化体験等、文化を育む学校環境づくりをめざします。

年6回の自主公開学習検討会を研修の柱とし、教師は各自の自己テーマ(課題)を明確にしなが授業づくりの質の向上をめざします。

探究する力
夢中になる工夫する
もがく生徒

SSWやSC等との連携、各種アンケートや年3回の教育相談を実施し、生徒一人一人に寄り添った安心安全に過ごすことができる学校づくりを推進します。

総合的な学習の時間において、地域課題をテーマに、仲間と協働しながら新しい価値を創造・発信する力を醸成します。

「家庭学習の手引き」を元に、家庭学習を授業と関連づけ、家庭と連携して自ら探究する生徒の育成を推進します。

学校運営協議会と連携して、家庭や地域が小中一貫教育に参画できる環境を整え生徒のふるさとへの誇りと愛着を育てます。

重点1 夢中になって探究し、仲間と工夫しながら学び合い、もがきながら自己を形成していく生徒の育成

重点2 「拓かれた私を發し、集団に在る喜びを感じる」学校生活・生徒会活動を推進する生徒の育成

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ生徒 「探究・創造・共同する生徒」

木島平村教育大綱(R2~R6)
～基本理念～
ふるさと木島平を心に刻む教育実践

学校教育の充実を図る基盤 1
「協同する学び」でつなぐ一貫教育の持続発展

学校教育の充実を図る基盤 2
木島平型コミュニティ・スクールの充実

(H30~R4) 第3次
長野県教育振興基本計画
「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり